

(作成年月日) 2023年4月1日

## (臨床研究に関する情報)

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体または通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日制定、令和4年3月10日一部改正)に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、検体・診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。検体・診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名] 胎児発育不全の胎盤における糖および乳酸トランスポーターの免疫組織学的検討

[研究の目的]

胎盤における糖および乳酸トランスポーターや乳酸受容体のHCA1 (hydroxyl-carboxylic acid 1)受容体の発現について、正常発育胎児と発育不全胎児で比較し、胎児発育における糖および乳酸の具体的な役割について解明することを目的とする。

[研究の方法]

対象となる患者さん

香川大学医学部附属病院において2010年以降に正期産で分娩した患者のうち、子宮内胎児発育不全をみとめた症例で胎盤が病理用検体として当院に保存されている症例を選択。また、正常発育の胎盤については、分娩時ジストレスや血圧上昇、早産など発育異常以外の理由で胎盤を病理用検体として当院に保存していた症例を選択。

利用する検体・診療情報

検体：胎盤

診療情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果(血液検査、画像検査など)

[研究組織]

香川大学医学部母子科学講座 周産期学婦人科学 教授 金西 賢治

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学術集会や学術雑誌等で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院 周産期科女性診療科

担当医師 香西 亜優美

電話 087-891-2174 FAX 087-891-2175